

2025年度 支部長研修会開催される!



今泉会長 あいさつ

各支部長の皆さん、休日のご参集ご苦労様です。また、日頃から各支部におかれての同窓会活動、誠にありがとうございます。遠方の支部長さんは、久々に母校を訪れたと

9月13日（土）、日専校の多目的教室にて2025年度支部長研修会が開催された。日専校での開催は2016年以来、9年振りの開催であった。異例の猛暑日が続いた夏の暑さを引きずるような蒸し暑さを残した中、各支部長と役員を含めて39名が参加した。

今泉会長から日専校の近況の紹介、松浦代表副会長挨拶、集合写真撮影後に昼食、支部長自己紹介、寮と実習棟の見学、事務局から役員マニュアルと同窓会活動についての説明、そしてグループ討議を行い、各支部との意見交換および発表を行った。意見交換では、各グループが各自の支部の置かれている状況から意見を述べ合い、最後に討論結果を発表した。同窓会のみならず、会社や日専校の問題にもつながるような深い内容であり、参加者一同で情報を共有することが出来た。

討論会終了後の第二部は、かみすわ山荘へと会場を移して懇親を深め、最後には校歌を声高らかに歌い上げ、全日程を無事に終了した。



第471号

2025年11月21日発行
日工同窓会広報委員会
編集責任者

瀧澤 之靖
細金 敦
発行人

日工同窓会事務局
日工同窓会館
〒317-0077
日立市城南町5丁目14番13号
TEL(0294)-21-5237
FAX(0294)-21-5241
E-mail:
dosokaij@net1.jway.ne.jp
<http://nikkoudousoukai.net/>

印刷所
大成印刷株式会社

今号の主な内容

2025年度支部長研修会 1～2面

工師登場、プロテリアル

社内表彰

第63回技能五輪全国大会結果 4面

各支部納涼祭り開催 5面

那珂支部実習生歓迎行事

神奈川支部秋の行事 6面

旧東海支部報告会、日高支部イベント 7面

高校サッカーリーグ戦 8～11面

本部会員の貢献 12～16面

日専校歴史写真、会員の消息 17面

日立理科クラブ会員募集 18面

編集後記

いう方もいらっしゃるのではないか
でしょうか。

支部長の皆さんのが一堂に会した折
角の機会ですので、この場を借りて、
私は現在、製作所本社で取り組んで
いる「モノづくり人財強化プロ
ジェクト」の状況について、簡単
にご報告します。このプロジェクト
は、今年度、「今後のモノづくり人
財をどう育成して行くか?」をテーマ
に、本社の人財部門・日専校も所
属しています、モノづくり戦略本部、
そして、グループの教育機関である
日立アカデミーの三者合同で立ち上
げたプロジェクトです。プロジェクト
のオーナーは、モノづくり部門管
理部長の久米さんと人財部門管掌常

務の瀧本さんのお二人です。「カリ
キュラム」「環境」「キャリアパス」
の3つの観点で、モノづくり人財の
教育システムの再構築を検討してい
ます。

まず、「カリキュラム」に関しては、
「匠の技術を継承しつつ、モノづくり
のデジタル化・グローバル化を推
進し、スマートファクトリーを実現
できるような、グローバル基準で最
新の技術を身に付けられるカリキュ
ラムを導入します。

次に、「環境」に関しては、「最新
の生産設備やITインフラを導入し、
外国人の実習生を受入れることが出
来るよう、更には、現在の日立共
創プロジェクトとも地域連携出来る
ように」教育環境を整えます。

最後に、「キャリアパス」に関し
ては、「モノづくりに関する最高の
仕事・キャリアブランドの確立」を
目指します。

こういった中で、日専校のカリ
キュラムに関しても、現状の授業時
間は、久々に母校を訪れたと



同窓会ホームページはスマートフォン等からも上記のQRコードを読み取るだけで簡単にアクセスが可能です！

(1頁の続き)

間配分を見直して、デジタル関係の最新授業を追加する新規カリキュラムに、来年26年度から改訂します。

もちろん、従来通り「匠の技術の継承は必須」ですので、これまでの電気・機械・溶接の実習時間は確保した上で、新たなデジタル関連の学習時間を捻出して学べるようにします。

そのために、まずは先生たちに学んでもらう必要がありますので、現在これらを学ぶことのできる先進的なリーディング企業の外部向け研修を受講してもらっていますし、生徒も何名かお試しで派遣する計画です。

目標指すのは、「デジタル武装した匠の育成」です。

どうか、支部長の皆さんにも、新たな日専校の動きにご注目いただければ、と思います。

本日の研修会が、日頃の同窓会活動に関する課題を共有し、今後の活動が更に活発なものとなる契機になることを期待しています。

松浦代表副会長あいさつ

本日は、休日のお忙しいところ、支部長研修会にお集まりいただきありがとうございました。なかなかこのように、支部長が堂に会する機会もありませんので、本日は活発な議論と、交流を致しました。宜しくお願いします。



大平 英樹氏
(76卒・建機)

Aグループ

また、2018年度が最後となつておりました、第2部の宿泊懇親会も、6年ぶりに実施致します。是非、支部長さん間及び本部役員との交流を深めたいと思います。

今回の支部長研修会ですが、事前にアンケートを取らせていただいた結果、様々なお悩みを抱えている事がわかりました。

テーマ討論

・各支部、若手からの金額の不満は



鬼澤 泰彦氏
(75卒・土浦)

Bグループ



A グループ討議

また今回、母校の日専校の協力をいたしまし

た。だき、学校での開催となりまし

た。・同窓会に入りたくない人が一定数いる

はどう対応するべきか

・全員からアンケートを実施

・話があれば柔軟に対応する

・近くの先輩から声掛け、コミュニケーションをとり



Cグループ

・本部に納めている会費の一部は学校の為に貢献できている事を説明して理解してもらう

・新人が入らず、退職者増えており会員が減っている

・若手・現場作業者の役員活動の難しさ



内田 勝章氏
(68卒・日立パワー)

・テーマ..現在の会費は若手会員にとつて負担となつていなか

・会員が日立Grから離脱し、会員のモチベーションの低下

・人数が多くコミュニケーションが不足

・テーマ..同窓会を脱退したい若手会員が増えてきている。支部・支部長

支部長研修会を振り返って

去る9月13～14日にかけて25年の支部長研修会を開催し、総務企画委員会として振り返ってみました。

第1部は支部長からリケエストの多かった母校での開催、第2部は今回初めて利用する高鈴山の麓にあるかみすわ山荘で開催し、総勢42名が参加しました。第1部では久々に訪問した母校の見学から始まり、本部や支部で抱える共通課題についてのグループ討議を実施しました。

グループ討議でAグループは、「現在の会費集金は若手にとって負担となつてないか?今後の会費集金の方向性について」について議論が交わされました。会費の集金方法は支



学校見学風景

(2頁の続き)

部、会計担当が個別に集金する支部があり後者の方で行うと会費を支払うことに抵抗がでる者に対してどのように対処したらよいかという議論となりました。集金した会費は、母校の活動支援、同期会・支部行事の支援、会報発行等に活用されていることを会員ひとりひとりが理解できるようにPRしていくことが重要であると改めて認識させられました。

Bグループは、「同窓会を脱退したい」という若手会員が増えている。申し出があつた際に支部長としてどのように対応しているか?」については、脱会という相談に関しては、コミュニケーションと丁寧な説明が必要で、頭ごなしにNGではなく我々は、脈々と先輩会員達から支援を受けてきた活動であることを退希望者に活動の背景、活動意義を丁寧に説明し、次に続く後輩たちのために支援を続けていくことの重要性を継承していくことが大切であると認識しました。

Cグループは、「本部役員、支部長の悩みについて」というテーマで約1時間グループごとに討議を重ね報告会を実施しました。支部長としては現役会員の退会相談、支部に新入人が入る計画がなく自然減で会員が減少していく状況、人数が少ない中での運営役員の選出等、支部の規模の大小にとらわれず共通の悩みなど

部があり後者の方で行うと会費を支払うことに抵抗がでる者に対してどのように対処したらよいかという議論となりました。集金した会費は、母校の活動支援、同期会・支部行事の支援、会報発行等に活用されていることを会員ひとりひとりが理解できるようにPRしていくことが重要であると改めて認識させられました。

Bグループは、「同窓会を脱退したい」という若手会員が増えている。申し出があつた際に支部長としてどのように対応しているか?」については、脱会という相談に関しては、コミュニケーションと丁寧な説明が必要で、頭ごなしにNGではなく我々は、脈々と先輩会員達から支援を受けてきた活動であることを退希望者に活動の背景、活動意義を丁寧に説明し、次に続く後輩たちのために支援を続けていくことの重要性を継承していくことが大切であると認識しました。

Cグループは、「本部役員、支部長の悩みについて」というテーマで約1時間グループごとに討議を重ね報告会を実施しました。支部長としては現役会員の退会相談、支部に新入人が入る計画がなく自然減で会員が減少していく状況、人数が少ない中での運営役員の選出等、支部の規模

を共有することができました。

これらのグループ討議・発表会を通して、参加者は多種多様な考え方を学ぶ機会となりました。テーマ毎に決して正解があるわけではないのですが、同じような境遇で頭を痛める支部長や本部役員にとっては有意義な時間になったものを感じました。

第2部は会場をかみすわ山荘に変え、BBQとお酒の力をかりてグループ討議では語りつくせなかつた話題に対しても本音で語りあうことができました。

その中で、本部役員の力石さんが、自前で準備した食材を駆使して、朝晩と青森県のソールフードであるせんべい汁を調理してくれ、皆格別の味を堪能することができました。宴も終わり順次お風呂に入り、第3部に突入。和気あいあいの卓球、時間と飲み物が続く限り延々と同窓会活動について語りあえたのは、価値があつたと考えます。本間信宏(78卒)

技能に生きる(工師登場)

『探求心をもつて取り組む大切さ』

(株)日立ハイテク

モノづくり統括本部那珂地区生産本部
製造部電子顕微鏡製作課

綿引 正則氏
(74卒・那 珂)

この度、栄えある工師を拝命し、身に余る光栄とともに、その重責に身の引き締まる思いです。これもひとえに、事業所幹部をはじめ、長きにわたりご指導いただいた同窓会の皆様、職場の上長、そして諸先輩方と共に業務に励んできた職場の皆様のお力添えによるものであり、心より感謝申し上げます。

私は一九八九年に日専校を卒業し、当時の那珂工場に配属され以来、一貫して電子顕微鏡の製造に携わってまいりました。入社後、作業に慣れてきた頃、日専校の先輩から「この作業は何のためにしているか分かっているか」と問われたことが、今でも記憶に残っています。図面通りに作業するだけでなく、「なぜその作業が必要なのかを理解して取り

組むことが大切だ」と叱咤激励をいただきました。この言葉を胸に、装置に携わる際には常に「なぜ必要か」を考え、分からることは設計者などに積極的に尋ねることで知識・知識を広げ、多くの新製品の開発やお客様先での装置据え付けに携わることができました。近年、AIや自動化などのIT技術が急速に進化していますが、その根幹にあるのは、これまでに培つてきた我々の技能です。今後、我々に課せられているのは、匠の技の伝承とともに、目には見えない技能を「見える化」し、自動化やAIの活用へとつなげるための定義を行うことだと考えます。

これからも同窓生とともに進化を続け、社業の発展のため、次世代を担う人材を育成し、世界一の「モノづくり事業所」を目指して邁進してまいります。

プロテリアルグループ・アワード 『2年半かけた夢の実現』



表彰を受ける鈴木氏(左端)

ました。

内容は、自動搬送ロボット導入による『歩かない化』の実現。どの現場でも似たような問題があるかと思います。付加価値のある作業を生み出すために上長のバックアップと諦めない現場の思いが構想から2年半、着工から約11ヶ月かけ実現しました。

7月23日、品川プリンスホテルにて社長賞の授賞式が開催されました。

国内外の事業所から80組約500人の工

ントリーの中、鈴木光彦氏(78卒・日高)のチームが見事21件に選ばれ

妥協することなくアイデアを出し、改善を続けて成し遂げた成果です。作業者が主体的にこの活動に関わり、徹底的に「歩行のムダ削減」というテーマに挑んできました。

プロテリアルの精神と「われら日々の底流たらん」魂が生んだ功績で

第63回技能五輪全国大会で大健闘

2025年10月17～20日にかけて愛知県の国際展示場などで開催され、同窓生から42名が参加し、銀賞・3個、銅賞・6個、敢闘賞・9個の獲得となりました。



○銅賞
松岡
駿輝氏
(108卒・那珂)



○電気溶接
黒田
大貴氏
(109卒・笠戸)



○プラスチック金型
北條
陽氏
(109卒・佐和)



○銀賞
田中
秀貴氏
(109卒・大みか)

（工場電気設備）
6個、敢闘賞・9個の獲得となりました。



○メカトロニクス
椎名
彗音氏
(110卒・多賀)



○プラスチック金型
副島
蓮氏
(109卒・那珂)



○構造物鉄工
伊藤
光希氏
(108卒・国分)



○大野
虎太朗氏
(108卒・那珂)



○川部
直生氏
(108卒・那珂)



○メカトロニクス
鴨川
生氏
(109卒・那珂)



○プラスチック金型
三代
健人氏
(109卒・多賀)



○益山
桧氏
(110卒・笠戸)



○佐藤
琉氏
(109卒・日立)



○大内
雄斗氏
(108卒・水戸)



○佐藤
拳氏
(108卒・水戸)

○敢闘賞
（電気溶接）



○電子機器組立て
海老沼
凜乙氏
(110卒・水戸)



○小口
心隠氏
(109卒・水戸)



○松岡
怜良氏
(109卒・那珂)

第63回技能五輪全国大会を取材して

今年も10月17から20日まで愛知県国際展示場など1会場で、全42職種の競技が行われた。技能五輪会場での取材は、4度目であるが会場の熱気は毎回重ねる毎に増している気がする。スポーツのように大声での声援は無論出来ないが各職種には職場の上司、同僚、家族が応援に駆けつけている。各選手には聞こえないと思うが戦っているのは、越えるべき相手は自分なのだろう。瞬きを忘れて選手の動作を追っている自分に気が付いた。

残念ながら金賞として名前を呼ばれた選手はいなかつた。涙を流す選手が印象的だった。涙の理由もそれであろう。

選手たちには結果を問わず心からの労いと敬意を表したい。また今年も様々な思いを胸に帰路に着く。

鈴木 光彦 (78卒・日高)

閉会式の会場は、独特の雰囲気に包まれていた。今回は介護職がエキシビジョンとして開催され、来年度からは正式種目として競技される。今後も更なる高齢化社会を視野に入れていることが伺える。



一流家具職人の「(有)秋山木工」秋山敏輝社長と筆者

各支部納涼祭り開催!!

「日立支部」

令和7年8月22日（金）、日立支部では、夏の夕暮れにふさわしい落ち着いた雰囲気の中、納涼ビアパーティを盛大に開催しました。本行事は夏の恒例であり、久方ぶりに再会した会員が笑顔を交わし、近況報告や懐かしい思い出を語り合う場となりました。

当日は、日立支部鈴木支部長、山崎総務部長、ならびに日立労組日立国分支部の栗原執行委員長よりご挨拶を賜り、それぞれの立場から同窓会活動への期待と激励のお言葉を頂戴いたしました。



り、DX推進や従来のものづくり分野に加え、工事施工監理など新たな職種にも対応する教育環境整備の方針が含まれており、幅広い分野で活躍できる人財育成をめざす構想が伝えられました。これにより、さらなる日専校の発展の始まりを感じさせ

さらに
今泉同窓会会長から
は現在の日専校
の現状や
今後の予
定にも話
題に上が

【佐和支部】
9月12日と19日に佐和支部最大イベントである納涼ビアパーティを、水戸駅前「ホテルテラスザガーデン」で開催しました。

感謝申し上げます。
なお、近年は定年退職や職場異動等により会員数が減少傾向にあります
が、日立製作所発祥の地に根差す同窓会として、日立支部は今後も積極的に活動を継続し、会員相互の絆を一層強化してまいります。

普段は所属や勤務場所が異なり、なかなか顔を合わせる機会の少ない

例年とは開催会場が異なるため、参加人数の減少や運営上のトラブルが懸念されましたが、事前に幹事ミーティングやホテルスタッフとの綿密な打ち合わせを重ねることで、2週とも大きな問題もなく、例年通り大盛況のビアパーティとなりました。

る極めて意義深いご挨拶をいただき窓会本部・会社幹部・組合ほか多数のご来賓の方々をお招きして、各回とも約100名の同窓生の皆さんに参加いただきました。

参加者からは「新しい会場の雰囲気も良かつた」との声も多く寄せられ、概ね好評でした。パーティの締めくくりには、参加者全員が肩を組み、輪になって校歌と寮歌を歌いました。

会員も、日専校のつながりによつて自然と会話が弾み、年齢層を問わざ多く方が参加して会場は大いに盛り上がりました。技能五輪選手による元気いっぱいの決意表明や恒例の抽選会も実施され、笑顔と歓声に包まれた楽しいひとときとなりました。

「那珂支部」

変ではありました、皆さまの笑顔を見て、幹事一同新たな活力を得ることができました。



(5頁の続き)

大規模での実施となつた。
開催にあたり井坂支部長（76卒）

より挨拶があり、ビール祭りを開催できることへの感謝と、同窓生同士の繋がりを活性化していきたいとの熱い思いを語った。乾杯の音頭は、

今年度工師任用となつた綿引氏（74卒）の発声で懇親がスタートした。

那珂支部は那珂サイト・マリンサイトを始めとした生産拠点が周辺に点在しており、頻繁に拠点間の他職場と交流するのは難しい面がある。会場内では、久々の再会を果たした会員同士が思い思いの胸の内とビルを口にしながら尽きない話題で大いに盛り上がつてた。新入会員紹介では、今年度入社となつた110卒会員に自己紹介をしてもらい、皆緊張している様子であつたが、個性豊かな面々が「おばんです！」と元気な挨拶を行つた。恒例の抽選会では、豪華賞品の当選者が発表されるたびに喝采があがり、一番の盛り上がりとなつた。



10月3日（金）ホテルクリスタルパレスにて10月から配属となつた実習生の歓迎バーベキューを実施した。参加者は実習生17名、今年度入社の110卒会員、支部役員関係者に加え、日専校からはHHT担当の工藤先生、HMS担当の高橋先生にもご参加いただき、総勢44名での実施となつた。

最初に井坂支部長（76卒）より実習生に向けて歓迎の挨拶、高橋先生からは学校の近況報告と実習生を受け入れてくださる配属先の先輩たちに向けて感謝の言葉をいただいた。



今年度入社の崎川氏（10卒）からは実習生に向けて「これから職場で活躍するためには、技術だけではなくコミュニケーションが大切。まずは話しやすい1つ上の先輩に相談してみてください」と実



当日は秋晴れの爽やかな天候に恵まれ、屋外でのバーベキューは終始和やかな雰囲気に。各テーブルに焼き場が設けられていたため、参加者それぞれが自分たちのペースで調理を楽しみながら交流を深めるスタイルとなつた。実習生も積極的に焼き場に立ち、先輩と協力して食材を焼き、初対面ながらも趣味や学校生活の話題で盛り上がり、自然と笑顔が広がつていつた。

自己紹介では、所属していた部活動や技能五輪に挑戦することへの意気込みなどを聞くことができた。緊張しながらも「よろしくお願ひします！」と元気な挨拶をする姿に、日校らしい礼儀と意欲が感じられた。



10月18日（土）神奈川支部の秋の行事を開催しました。この行事はご家族の方も気軽に参加できる行事として企画し会員13名、会員家族5名の計18名で実施しました。



神奈川支部 秋の行事開催!!

彼らを11卒会員として迎え入れる日を、支部一同楽しみにしている。小池 七海（103卒）

「近況報告会」開催!

9月13日（土）～14日（日）にかけて、恒例となつた旧東海支部近況報告会が御前山青少年旅行村の体験交流館にて開催されました。参加者は日帰りを含め18名となり、和気あいあいとした雰囲気の中で2日間を過ごしました。買い出し班6名は、集合場所の常陸大宮「ラーメン来れば」でつい食べ過ぎてしまうというスタート。現地に到着すると、小室料理長（59卒）の指揮のもと調理を開始しました。毎年恒例となつた握り寿司の準備では、またも「すし飯の素」を買い忘れるという事態に…。しかしそこは慣れたもので、後から来る参加者の中で早そうな会員を探し出し、追加で買い出しに行つてもらうというチームワークの良さを發揮。無事に寿司が並んだ時には、会場から大きな歓声があがりました。

今年の目玉のひとつは、なんと58匹ものアユ。竹を割つて手作りした串に刺し、炭火で焼き上げる姿は圧巻でした。さらに先輩からの差し入れには驚きの連続。中でもキノコは多彩で、「こんなに種類があるのか」と皆が感心しきり。料理はどれも絶品で、秋の味覚を存分に堪能できました。宴が始まると、屋内外に分かれて



バーベキューの炭火をつつきながら昔話に花を咲かせます。年代が上がつていてることもあり病気の話題も多く出ましたが、参加された先輩方は皆さんいたつてお元気で、むしろこちらが力をいただくようでした。テーブルには次々と料理が並び、大量に用意されたビール、日本酒、ワイン、焼酎も空瓶がどんどん増えていきます。宴が進むほどに賑やかさを増し、最後はお約束のハーモニカライブで締めくくられました。76歳の大先輩が披露した深夜の演奏

には、会場全体が温かい拍手と歓声に包まれました。やがて16名が床に就きましたが、夜は静かとはいからず。いびき、寝言、うめき声の大合唱が夜空に響き渡り、これもまた忘れられない思い出のひとつとなりました。翌朝はスープ不足に気づき慌てる一幕もありましたが、カレーを囲んでの朝食は格別で、清掃を終えて解散となりました。

今回参加できなかつた方、過去にご一緒した方も、ぜひ次回はご参加ください。次回は2026年11月14日（土）～15日（日）、同じ御前山青少年旅行村での開催を予定しています。笑いあり、美味あり、音楽あり、そして何より仲間とのつながりを再確認できる2日間を、また皆さんと分かち合えることを心から楽しみしております。

本間 明宏（76卒）

日高支部イベント 秋のちゃんこ鍋

高校サッカーOB戦

9月20日（土）、第18回日立市内高校サッカー部OB交流戦が日立市民運動公園（池の川）において開催された。

この大会は、日立市内の高校サッカー部に所属していた40歳以上の方々を対象にした交流戦である。今年は気象庁による統計開始以来、最も暑い夏の勢いに襲い掛かられるかと思われた時期の開催であったが、



運良く曇り空となり突き刺すような暑い日差しを凌げた絶好のコンディションで迎えることができた。茨城ギリスト教高校、日立工業高、多賀高校、日立商業高、日立北高、そして科技工日立（日専校）である。試合は15分ハーフで行われ、参加者が少ない参加校については合同チームを編成し、試合は15分ハーフで行われ、各チーム2試合で進行した。

参加校は、日立一高、日立工業高、茨城ギリスト教高校、明秀日立高校、多賀高校、日立商業高、日立北高、そして科技工日立（日専校）である。試合は15分ハーフで行われ、参加者が少ない参加校については合同チームを編成し、試合は15分ハーフで行われ、各チーム2試合で進行した。

いざ試合が始まると、若かりし頃とは違う重い身体を何とか動かし、ボールを追いかけ、各々が四苦八苦の連続であった。

そこでもバスが回り、最終的には得点つながりと、終始はつらつとしたプレーで楽しむことができた。

結果は左記

VS 日立工業 2-1 (勝)

VS 日立商業・キリスト高の合同チーム 2-1 (勝)

2-1 (勝)

学校だより

2025年8月から10月までの

資格試験一覧

この期間に日専校生が取り組んだ
資格・検定試験の一覧を記載する。

- 8月23日 2級電子機器組立学科
- (3電気科)
- 9月2日 2級電子機器組立実技
- 9月23日 QC検定4級
- (3電気科)
- 10月16日 リスニング検定
(全生徒)
(3年希望者)
- 10月20日 溶接JIS検定
(2溶接科)



活発な意見交換

トヨタ工業学園との定期交流会で活発な意見交換



トヨタ工業学園交流会

7月17日から18日、トヨタ工業学園
私がトヨタ工業学園との交流会に
3電気科 菅野 昇流

園との交流会を実施した。トヨタ自動車の学校。日立製作所の学校。日本を代表する企業内学校で、それぞれの強みを共有する交流会となつた。双方の更なる成長につながる機会作りを目的とし、職場で即戦力になるために何が必要かを考え、日常の取り組みにつなげることを目標とした。

3月のトヨタ工業学園での交流会から具体的に取り組んできた内容の共有と、振り返りを実施した。グループディスカッションでは、生徒会、寮役員、部活リーダーと3つの会議に分かれ活発な意見交換を行った。次につながる新たな目標を決め、日常生活での実践につなげていく。今後も定期的に交流会を重ねていき、日専校生としての「あるべき姿」に近づいていきたい。

H O I T E L Ara iとアミーチア

ドベンチャードベンチャーでは、ツリートレッキングのハーネス付け、アクティビティなどのように実践できたかを振り返り、成果や課題を確認する良い機会となりました。お互いに意見を出し合い、自分たちでは気付かない新しい視点を得ることができました。お互いの学校を更により良いものにするために、強みを成長させ、課題を強みに変えていくための取り組みを具体的に考え合うことができました。2度の交流会を経て、自分たちにはないトヨタ工業学園の強み、自分たちが持っている日専校の強みを再認識するとともに、お互いに新しい発見や、刺激を感じることができたことは大きな成果です。3年生にとって今回の交流会が最後となりましたが、新体制の2年生にしっかりと引き継ぎ、これから更に交流会が活発化していくことを期待しています。

3年生が就業体験

異なる分野の仕事を経験

ドベンチャードベンチャーでは、ツリートレッキングのハーネス付け、アクティビティのサポート業務、トレッキング周辺の安全確認作業を体験した。

ドベンチャードベンチャーでは、ツリートレッキングのハーネス付け、アクティビティのサポート業務、トレッキング周辺の安全確認作業を体験した。

ドベンチャードベンチャーでは、ツリートレッキングのハーネス付け、アクティビティのサポート業務、トレッキング周辺の安全確認作業を体験した。

ドベンチャードベンチャーでは、ツリートレッキングのハーネス付け、アクティビティのサポート業務、トレッキング周辺の安全確認作業を体験した。



ホテル、レジャー施設での就業体験



茨城県庁表敬訪問

茨城県庁に入賞報告
若年者ものづくり競技大会
高市のLOTTE HOTEL Ari a iで男子12名が就業体験を実施した。軽井沢プリンスホテルでは、クローケの受付、お客様の送迎、荷物の受け取り・運搬など。LOTTE HOTEL Ara iとアミーチア

ミーチアドベンチャードベンチャーでは、安全確保はもちろんですが、すべてのお客様に楽しんでいたための思いやりある接客が徹底されており、とても印象に残りました。この経験を通して、今後は左記の点を意識して行動したいと考えています。
①常に笑顔で、相手の気持ちに寄り添うコミュニケーションを心がける
②指示を待つのではなく、自ら進んで仕事を見つけ行動する勇気を持つ
③お客様のちょっととした変化や困りごとに気づけるよう、日常から觀察力を養う
④業務に必要な知識を積極的に習得し、自信をもって行動できるようになります

茨城県庁に入賞報告

若年者ものづくり競技大会

ミーチアドベンチャードベンチャーでは、安全確保はもちろんですが、すべてのお客様に楽しんでいたための思いやりある接客が徹底されており、とても印象に残りました。この経験を通して、今後は左記の点を意識して行動したいと考えています。
①常に笑顔で、相手の気持ちに寄り添うコミュニケーションを心がける
②指示を待つのではなく、自ら進んで仕事を見つけ行動する勇気を持つ
③お客様のちょっととした変化や困りごとに気づけるよう、日常から觀察力を養う
④業務に必要な知識を積極的に習得し、自信をもって行動できるようになります

8月2日および4日に開催された第20回若年者ものづくり競技大会において、本校からは、旋盤職種に3年機械科の嶋田龍聖、フライス盤職

監視しているように感じさせず、困っているときにすぐに対応できる態度には学ぶべき点が多くありました。混雑時でも焦ることなく、すべてのお客様に対して丁寧に対応し、待ち時間にもお客様と積極的にコミュニケーションをとり、笑顔で安心感を与えていた点です。お子様が不安そうにしていれば励ましたり、安心させたりと、お客様の気持ちに寄り添

う姿勢は素晴らしく感じました。ア

(8頁の続き)

種に同じく3年機械科の五月女大輝、メカトロニクス職種に3年電気科の金長真杜・木田将臣ペアの計4名が出場した。大会には、全国の職業能効開発施設および工業高等学校に在籍する20歳以下の学生・訓練生358名が参加し、15職種にわたってポリテクセンター徳島・ポリテクセンター広島、あなぶきアリーナ香川、その他5会場にて技能を競いあつた。本校出場者のうち、五月女大輝がフライス盤職種で銅賞（第4位）金長真杜・木田将臣ペアがメカトロニクス職種で敢闘賞（第4位）を受賞した。受賞者には8月27日に茨城県職業能力開発協会より表彰状およびメダルが届けられ、9月10日には産業戦略部長・次長への報告も行われた。出席者たちは、今後の技能五輪大会出場を目指してさらなる技術向上に努めており、今後の活躍が期待される。

3年機械科 五月女 大輝

今回の大会では、「銅賞」を受賞することができました。目標でした。直面していた金メダルには届きませんでしたが、自分の持てる力をすべて出し切り、その結果が形となつたことを素直に嬉しく思っています。このような結果を残すことができたのは、日々ご指導くださった先生方をはじめ





3年機械科
五月女
大輝

今回の大会

場を目指してさらなる技術向上に努めており、今後の活躍が期待される。3年機械科 五月女 大輝

今回の大会では、「銅賞」を受賞することができました。目標としていた金メダルには届きませんでしたが、自分の持てる力をすべて出し切り、その結果が形となつたことを素直に嬉しく思っています。このような結果を残すことができたのは、日々ご指導くださった先生方をはじめ



3年電氣科
金

め、日工同窓会の皆様、そして応援して
ご支援いただいた多くの方々の支え
があつたからこそだと深く感じております。心より感謝申し上げます。
今回の経験を今後の技能五輪へとつなげ、次こそは金メダルを目指して、
より一層努力してまいります。

きました。ご指導くださった先生方、そして温かい応援をくださった同窓会の皆様をはじめ、全ての方々に心より感謝申し上げます。大会では、「今まで自分と向き合うことができました。第2課題を提出できなかつた悔しさは残りますが、この経験から得た学びは計り知れません。この悔しさを胸に、次の技



競技中の五月女さん(フライス盤職種)



3年電気科 木田 将臣

本当にありがとうございます



今大会では

「能五輪」では、今回の反省を必ず活かし、さらに良い結果を目指します。そして、この大会で得た経験を糧に、社会で活躍できる人財になれるようこれからも日々精進してまいります。本当にありがとうございました。



競技中の嶋田さん(旋盤職種)

が、結果は嘗てとなり、悔いの残る結果となつてしましました。約2ヶ月間の訓練期間中には、納得のいく課題が組めた日もあれば、思うように点数が伸びず、悩む日も多くありました。本当に自分の実力を十分に發揮できず、悔しさばかりが残る大会となってしまいました。しかし、この悔しさを糧に、次の目標である技能五輪競技を



部活動リーダー研修会

部活動リーダー研修会 新たな体制で活動開始

で成果を出せるよう、今後も努力を重ねてまいります。最後になりますが、これまでご指導くださいった先生方、日工同窓会の皆様、そして応援ご支援いただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

8月29日、2年生以下の新リーダー（部長・副部長・生活指導）が参加した。部活動リーダー研修会が行われた。グループ討議では「リーダーとは何か」「どんなリーダーになりたいか」を話し合い、仲間の意見を尊重しながら組織を意識した行動が大切だと学んだ。今泉校長からは「チーム力を高めるために」と題して、協力の重要性の話があり、その後はスライドを（10頁へ続く）

(9)
貢の続き

用いて各部の活動目標、課題と克服方法、リーダーの自覚を整理・発表した。新体制で伝統を継承しつつ改善を重ね、より有意義な学校生活や部活動を築くことが期待される。

2年電気科 玉野 輝晟

（考動アクション）部活動委員長

この度、部活動委員長となりました玉野輝晟です。8月29日に部活動リーダー研修会に参加させていただきました。部活動リーダー研修会では各部のリーダー（部長、副部長、生活指導）が他部活のリーダーとグループになりリーダーの定義やボトルマップ理論などの様々な議題について話し合いました。研修会の後半には各部でスライドを作り、今後の目標、現状の課題、活動計画などについての発表を行いました。今回の研修を通して、各部の現状や目標、リーダーとしての立ち振舞について考える良い機会になりました。今後は今回の研修会を通して学んだことを活かして部活動をより良いものにできるよう日々精進していきたいと思います。

都市対抗野球応援

6年ぶりに東京ドームへ
第96回都市対抗野球大会が8月28日から開幕し、日立製作所野球部の初戦は9月2日、福岡市代表の西部ガスと東京ドームの舞台で激闘を繰り広げた。



都市対抗野球全校応援(東京ドーム)

市対抗で日立製作所の一体感を目の当たりにし、良い経験ができた。来年こそは1つでも多く東京ドームで応援できるようこれからも日立製作所野球部を応援したい。

寮委員研修会を開催 2年生リーダーに引継ぎ

9月24日午後から寮食堂にて開催された本研修会には10月から始まる3年生の工場実習に伴い、現2年生の寮生から新たに選出された11名の新委員と18名の旧委員が参加した。研修会のプログラムは以下の通り。

- ①校長、寮管理グループ長挨拶
- ②新委員挨拶
- ③旧委員による活動実績報告
- ④新委員によるグループ討議（活動スローガン、および全員リーダー制における役割決定）
- ⑤各リーダーによる活動指針発表

新委員はグループ討議を通して、更に良い寮にするための活発な意見交換を行い、活動スローガンを「自慢できる寮（笑顔でつくる毎日）」と決定した。

各委員には、委員長を統括役とし、安全衛生、食事、女子生活など10種類のリーダー的役割が与えられ、各々が活動方針や具体的な活動内容を決め全員で共有できた。

今後、新委員を中心に全寮生が活動し、より良い寮を創りあげることを期待する。

寮委員研修会を開催

2年生リーダーに引継れ

- 9月24日午後から寮食堂にて開催された本研修会には10月から始まる3年生の工場実習に伴い、現2年生の寮生から新たに選出された11名の新委員と18名の旧委員が参加した。研修会のプログラムは以下の通り。

 - ①校長、寮管理グループ長挨拶
 - ②新委員挨拶
 - ③旧委員による活動実績報告
 - ④新委員によるグループ討議（活動スローガン、および全員リーダー制における役割決定）
 - ⑤各リーダーによる活動指針発表

2年電気科 海老澤 瑞波
(考動アクション寮委員長)
今回、寮委員研修会に参加し、寮生活の中で委員としてどんな役割や責任があるのかを知ることができました。委員長として、全体を常に見渡し、いろいろなことを考えながら判断していく必要があると感じました。また、意見をまとめるためには日頃からのコミュニケーションが大切で、協力し合うことで課題を解決できることを学びました。さらに、先輩方が築いてきた取り組みや雰囲気の大切さを改めて知り、それを受け継ぎながら新しい工夫を加えていくことの必要性を感じました。今後は、この研修で得た学びを活かし、みんなが思いやりを持ち、お互いに気持ちよく生活できるような寮づくりをめざして、委員長として責任を持ち、積極的に考動していくたいと思います。



睿委员研修会

3年生が工場実習前に研修

3年生が工場実習前に研修 18事業所で実習開始

3年生が退寮 寮内の部屋替え実施

9月24日の午前に日専寮の部屋替えが行われた。この日は3年生の現場実習に向けて事業所毎や退寮して新天地への準備の部屋替えである。日専寮では年に3回の部屋替えがあり、6月にはチームワーク向上を目的に部活毎、3月には新たな間となる1年生の入寮に向けての寮屋替えである。寮生約200人が暮らすこの大きな寮にとって、この日はまさに一大イベントである。部屋から運び出されるのは、教科書や制服だけではない。汗と涙が染み込んだ二つオーム、趣味全開のぬいぐるみや推しのグッズなど多彩だ。教員たちが部屋を巡回し、荷物が運び出された後の部屋の清掃状況を厳しくチェックする。要領の良い生徒は冒小限の荷物でテキパキと移動を済ませて時間通りに終わらせている。部屋替えは単なるモノの移動だけではない。新しい出会いと2年生の新竹制の寮委員のもと新たな青春の物語が始まる。寮担当職員として5SSMを徹底を願う。

第51回「わが宿の集い」開催される!

《ご家族も参加しバーベキュー・バイキング》



第51回「わが宿の集い」は、猛暑も一段落した9月20日（土）の午後、同窓会館にて開催した。最初に参加者全員で記念撮影。続いて小室企画小委員会主査（59卒）に代わり上野（54卒）が冒頭の挨拶を行い、濱島民治氏（42卒）の乾杯の音頭で懇親会の開始となつた。宴もたけなわとなつた頃、参加者全員で堪能した。

員から自己紹介を兼ねて、近況のご報告をいたいた。皆さん、まだお元気で仕事を続けられている方が多く、生涯現役が現実となつている様子でした。前回に続き、今回もバーベキューなどたくさんのおいしい料理を、小室料理長他の役員の皆さんに早朝から作つていただき、プロ並みの味を参加者全員で堪能した。

今回は参加会員の奥様、娘さんにも同伴していただき、日工同窓会の良さをご家族の皆様にご理解いただき良い機会となつた。

今回も関正治氏（43卒）からノートパソコンの提供があり、盛大な抽選会を行い、海野浩安氏（70卒）が見事当選した。

最後は、箭内光人氏（63卒）による締めのご発声でお開きとなつた。

（上野 栄一）



「わが宿」調理人。左から鈴木氏（78卒）、海野氏（70卒）、斎藤氏（64卒）、小室氏（59卒）



準備開始前のミーティング。
安全とおいしさを誓い合った



屋外調理場。今回は、水道を引いて仮設流し場も設置



宴もたけなわ。席を移動してお酌し合い、はしご酒



テーブルを3卓配置。それぞれ気の合う同士で



豪華料理。煮物、焼き鳥、スマーカーソーセージ等和洋中折衷



永盛氏（46卒）ご家族



生田目氏（44卒）ご夫妻



濱島氏（42卒）ご夫妻



9月26日(金)、国民宿舎「鵜の岬」グラウンドゴルフ場にて第5回グラウンドゴルフ大会が行われた。当時は、晴天に恵まれ、会員の家族(奥様)を含めこれまで最高の26人の参加となつた。

これまでの参加者は、最高で23人であったが、今回はそれを超える26人の参加があり、主催者側としては本部会員のメインの行事として定着しつつあり嬉しい限りである。

8時30分からの受付と並行して、コースの設定を行ない、記念撮影の後、4組に分かれ小室企画小主査の木イツスルを合図にプレーが開始された。

8ホール3ラウンドを行ない、成績は次の通り。

■優勝 篠原 昭裕 (46卒)

■準優勝 大森 一夫 (55卒)

■第3位 濱島 民治 (42卒)

■B B賞 木植登美雄 (51卒)

■ホールインワン賞 大森 一夫 (55卒)

■B B賞 第3位 大森 一夫 (55卒)

第5回グラウンドゴルフ大会開催される!

グラウンドゴルフ大会は、会員の高齢化に伴い、これまで行つてきたNS会ゴルフコンペに代わる行事として2023年7月23日に第1回を開催した。

プレー後は、「鵜の岬」本館の会食場でお膳の会食と表彰式が行われた。

その後、希望者は本館最上階の天然温泉風呂に入り、プレーの疲れを洗い流し「鵜の岬」を後にした。

企画小主査 小室 道男 (59卒)

濱島 民治 (42卒)



永盛(46卒)
ご夫妻



篠原(46卒)
ご夫妻



プレー風景



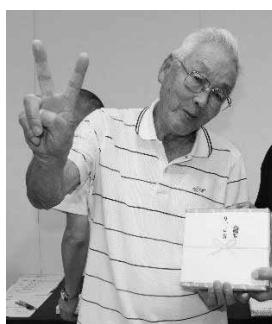
「いただきまーす」



会食御膳



会食会場の様子



B B賞：濱島氏(42卒)



第3位：木植氏(51卒)



準優勝：大森氏(55卒)



優勝：篠原氏(左)(46卒)

49回卒

「三九会」傘寿の集い

令和7年8月31日(日)から9月1日(月)にかけて、「いこいの村潤沼」において第49回卒業の溶接科のメンバーが集つて「三九会」の「傘寿の集い」が開催された。

振り返つてみると、卒業以後、20代の後半ぐらいから、ずっと毎年「溶接科クラス会」として会合を重ね、途中からは、恩師の行田先生にも加わつて頂いて続けてきた。しかし、日立を退職したメンバーも多くいたこともあり、60歳の定年退職を機に会の名前を変えることにした。

そこで、一区切りとして、最後の会合との位置付けで「傘寿の集い」を呼びかけることとした。

日専校2年生の時に溶接科としてスタートした時は、43人の仲間がいたが、現在わかっているだけでも、すでに10人は鬼籍に入つており、連絡の取れる20人に案内を出し、全員から返信が来た。その中には、参加したいが残念ながら体調がすぐれず、それがかなわないという方々が多く、昨年より1人減少して行田先生を含めて9人での集いになった。

ただ、会合までの待ち時間には、返信された手紙やはがきを基に電話をかけたりして、

一部の仲間とは、旧交を温めることもできた。



行田先生(前列左より3人目)と一緒に

行田先生には、すでに傘寿影からスタートしたが、今は、最後になるということで、今迄に亡くなつたと消息がはつきりしている10人の氏名を逝去順に奉じて、全員で黙祷をささげてから、宴会をスタートさせた。

会合は、例年同様に記念撮影からスタートしたが、今回

は、最後になるということで、

行田先生には、すでに傘寿

前を変えることにした。

そこで、卒業した年の昭和39年にあやかつて、あらゆる事に感謝するという事を考慮し、「三九会」と改称してから早や19年の歳月が流れ、今年は傘寿を迎えることになった。

そこで、一区切りとして、最後の会合との位置付けで「傘寿の集い」を呼びかけることとした。

日専校2年生の時に溶接科として

スタートした時は、43人の仲間がいたが、現在わかっているだけでも、すでに10人は鬼籍に入つており、連絡の取れる20人に案内を出し、全員から返信が来た。その中には、参加したいが残念ながら体調がすぐれず、それがかなわないという方々が多く、昨年より1人減少して行田先生を含めて9人での集いになった。

ただ、会合までの待ち時間には、返信された手紙やはがきを基に電話をかけたりして、

一部の仲間とは、旧交を温めることもできた。

会合は、例年同様に記念撮影からスタートしたが、今は、最後になるということで、今迄に亡くなつたと消息がはつきりしている10人の氏名を逝去順に奉じて、全員で黙祷をささげてから、宴会をスタートさせた。

行田先生には、すでに傘寿

を卒業している先輩として80歳代の人生の過ごし方を「美しい80代」と題し、生活するための心構えをしたための色紙を各人に頂いた。

その後は、例年のごとく、各人の近況報告に華を咲かせた。の中では、よく半世紀以上も続いたものだとう驚きとその絆の深さや健康に感謝する言葉が多く重ねられた。

長年、その取りまとめを自任してきた小生としては、継続して参加して協力してくれた仲間がいたから続いたわけであり、感謝するばかりである。

また、途中からメンバーに加わつていただいた行田先生には、昭和37年の溶接科の担任以来63年にわたりご指導を頂き、御礼の言葉もないという心境である。

翌朝は、前夜の余韻を胸に、これからは各々が八十路の旅をスタートさせるにあたり、お互いに健康第一で平穏な生活を送られるように祈念しながら、潤沼の名産であるシジミを手土産に帰路についた。

(鈴木 利文)



5月15日(木)に56回生G.O.-f会を開催しました。
本G.O.-f会は、2020年4月17日に勝田ゴルフクラブにて第14回を開催予定でしたが、新型コロナ禍により残念ながら中止しました。

新型コロナも収束してきたので、新たにメンバーを再編し、第1回として8名の参加を得て金沙郷カントリークラブで再開しました。

天候にも恵まれて、久しぶりの顔合わせで、プレー中の会話も弾み楽しくプレーできました。

結果は、助川静君が優勝でした。次回は11月に開催することを決めて終了しました。
(高岡 秀美)

56回卒

「56回生G.O.-f会」を開催

5月15日(木)に56回生G.O.-f会を開催しました。

本G.O.-f会は、2020年4月17日に勝田ゴルフクラブにて第14回を開催予定でしたが、新型コロナ禍により残念ながら中止しました。

新型コロナも収束してきたので、新たにメンバーを再編し、第1回として8名の参加を得て金沙郷カントリークラブで再開しました。

天候にも恵まれて、久しぶりの顔

合わせで、プレー中の会話も弾み楽

しくプレーできました。

結果は、助川静君が優勝でした。次

回は11月に開催することを決めて終了しました。
(高岡 秀美)

63回卒

日立市民美術展覧会で大町義典君が市長賞受賞

9月6日(土)～14日(日)にかけて、日立市民の美術の祭典「第61回市美術展覧会」がシビックセンター他で開催された。

洋画、日本画、書道、デザイン、写真、彫刻、工芸、中学生の8部門に分かれ、446点の作品が展示された。

洋画部門では、我ら63卒の大町義典君の「上磯の朝」が見事に市長賞を受賞した。

9月6日(土)～14日(日)にかけて、日立市民の美術の祭典「第61回市美術展覧会」がシビックセンター他で開催された。

洋画、日本画、書道、デザイン、写真、彫刻、工芸、中学生の8部門に分かれ、446点の作品が展示された。

洋画部門では、我ら63卒の大町義典君の「上磯の朝」が見事に市長賞を受賞した。



荒々しい海の臨場感あふれる力強い作品となつてゐる。

大町君の才能が日立市民に認められたものであり、我ら63卒同期生として誇りに思う。

この受賞を機会に更なる精進を重ね、上を目指した活躍を期待したい。

(箭内 光人)

66回卒

都市対抗野球応援団結成

日立製作所が3年振りに都市対抗野球出場が決まり、それに伴い、以前も日立製作所野球部応援団長としてチームを鼓舞していた66卒同期の後藤紀昭君が捲土重来を果たして日立製作所野球部応援団長に返り咲き。66卒の有志がスタンンドに駆け付けた。

早朝6時前に応援バスに乗車し、途中首都高で渋滞に遭つたものの一路東京ドームを目指した。到着後、後藤団長と必勝を誓い合い、独特的の緊張感の中、徳永社長が投じた始球式

展開に後藤団長を中心とした大応援団が一糸乱れず声を枯らして声援を送るも、6回にレフトスタンンドに痛恨のホームランを打たれてしまう。それでも8回に満塁とし、一打同点の大チャンスを得るも宮選手が三振に倒れ万事休す。9回にはダメ押しの4点目を奪われ、残念ながら初戦突破はならなかつた。

試合は残念な結果に終わつたが、大応援団を率いて奮闘した後藤団長の心身の疲労を癒やすべく、すぐさま有楽町ガード下に集い、冷えたビールで乾杯し賑やかに同期会へ突入した。

</

(15頁の続き)

◆51卒（金澤 和彦）

- ・2年毎に1泊で実施していた同期会は、本人・家族を含めて健康不良などで1泊での開催は厳しくなり検討中。
- ・2023年10月の同期会以来活動はしていないが幹事を中心にグループLINEで情報交換をしている。

◆53卒（榎原 愛正）

- ・毎年行われている1泊懇親会は、今年度も実施予定。バスを利用しての懇親会を考えていたが、できるだけ参加しやすい場所として、前回と同じでも良いのではとの提案があり検討したい。
- ・ゴルフ同好会の「53会」（ゴーサン会）は毎月実施。以前に比べ参加者が少なくなってきた。体力の低下か？

◆55卒（豊田 英雄）

55卒同期会は日立地区：3人、水戸地区3人の計6人の幹事で運営。

3/22（土）：幹事（6人）による、2024年度活動の反省会を実施（於：日立駅近傍居酒屋）
2024年度幹事から2025年度への幹事引継ぎ（正）：水戸地区、（副）：日立地区担当で運営

5/9（金）：幹事会（2025年度活動計画打合せ）
(於：奥久慈観光ホテル、一泊)
第11回同期会開催を計画（実施時期：10/21、場所：ホテル テラス ザ スクエア日立に決定）

9/1（月）：第11回同期会開催案内状送付

9/10（水）：幹事会（第11回同期会の中間参加状況、予算、ホテルへの依頼事項、その他確認）（於：日立駅近傍居酒屋）

9/21（日）：幹事会で第11回同期会について下記（予定）を確認する。（勝田駅周辺を予定）
 ①未返信者のフォローアップ、最終参加者
 ②幹事の役割決定、当日のタイムスケジュール等

◆59卒（小室 道男）

2024年11月9日（土）

河原子 いりぼし旅館にて同期会29人参加。

2025年5月22日（木）

東京品川 屋形船「船清」にて同期会23人参加。

2025年11月9日（日）

鶴の岬にて古希祝い、30人参加予定。

*本年より相互連絡を30人がLINE登録して取り合っている。

◆61卒（児島 強）

- 2024年10月18日（金）入学50年記念 一泊同期会
於：横川鉱泉 中野屋旅館
参加人数：27人、2次会も含め大いに盛り上がる。
次回は、古希・70歳で再会を誓う。
- 2024年11月30日（土）幹事会
於：シビックセンター 705室 出席幹事 10人
一泊同期会の反省会 前回より、参加人数が減少し30人を切ったことが反省
- 2025年3月22日（土）第1回幹事会
於：シビックセンター 504室 参加幹事9人
次回古希・入学50周年記念同期会の計画
- 2025年6月21日（土）第2回幹事会
於：多賀 居酒屋「漁鮮水産」参加幹事8人
次回古希・入学50周年記念同期会の計画
- 2025年9月19日（金）（予定）第3回幹事会
於：日立 居酒屋「吉兆」参加幹事7人
次回古希・入学50周年記念同期会の計画と本部同窓会行事への参加について
(グランドゴルフ大会、ボランティア活動、「わが宿の集い」等)

◆63卒（箭内 光人）

報告事項なし

◆65卒（堀江 弘昭）

報告事項無し

◆67卒（橋本 英憲）

- 卒業時の各クラスと同期会幹事のLINEグループは継続運用中。
- 2025年7月8日（火）に「常陸之國 もんどうろ勝田駅前店」で幹事会を実施。9人参加。
幹事会は毎年行うことにしている。
- 次の同期会は人生の節目となる65歳頃に実施予定。

以上



NPO法人 日立理科クラブ

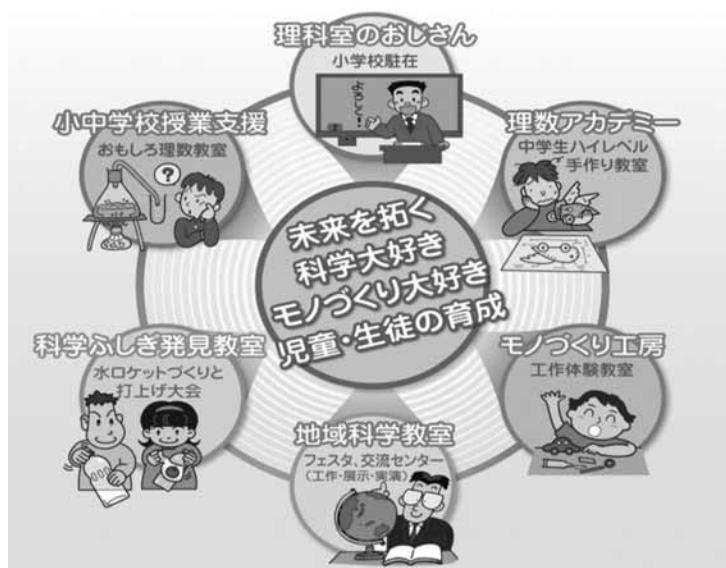


科学創造立国日本の将来を担う青少年の理科学離れは深刻な社会問題となっています。

この状況を開拓するため、日立市と日立製作所の支援を得て「日立理科クラブ」を創設致しました。

日立理科クラブは、ボランティア精神に基づく活動を基本とし、その人材資源をフル動員して日立市をモデルとした子どもたちの理数教育支援を継続的に展開しています。

日立市教育委員会のご指導の下に、子供理数教育支援を日立市の全小中学校へ展開し、子どもたちの学力を向上させ、ひいては理数科モデル都市・日立市の活性化に貢献するものと思います。なお、近い将来には茨城県をはじめとして、日本の青少年の理数教育の振興に資することを目指します。



<基本方針>

- ①教育の現場に根ざした小中学生の理数学力の向上支援
- ②科学大好き・モノづくり大好き少年を育てる環境の整備支援
- ③地域への社会貢献と相互交流・研鑽

日本の将来を担う青少年の理科学離れという深刻な社会問題を開拓するため、日立市と日立製作所の支援により、2009年に創設された日立理科クラブは、ボランティア精神に基づく活動を基本とし、企業OBなどの人財を動員して、小中学生の理数教育を支援しています。小中学生の好奇心を引き出し、「科学の不思議」「モノづくりの感動」を体験させる教育支援を目的とし、約100名のクラブ会員には日立グループのOBやOGも多く含まれています。「未来を拓く人づくり」を基盤理念に掲げる日立市教育委員会と連携しながら、日立市の全小中学校へ活動を展開し、子どもたちの学力を向上させ、日立市の活性化に貢献しています。

この度、日立理科クラブから日立同窓会へ「モノづくりの匠」として、ぜひ日工同窓会員にも参加してもらいたい」という要請をいただきました。日立市と日立製作所は、日立市全

日本の将来を担う青少年の理科学離れという深刻な社会問題を開拓するため、日立市と日立製作所の支援により、2009年に創設された日立理科クラブは、ボランティア精神に基づく活動を基本とし、企業OBなどの人財を動員して、小中学生の理数教育を支援しています。小中学生の好奇心を引き出し、「科学の不思議」「モノづくりの感動」を体験させる教育支援を目的とし、約100名のクラブ会員には日立グループのOBやOGも多く含まれています。「未来を拓く人づくり」を基盤理念に掲げる日立市教育委員会と連携しながら、日立市の全小中学校へ活動を展開し、子どもたちの学力を向上させ、日立市の活性化に貢献しています。

この度、日立理科クラブから日立同窓会へ「モノづくりの匠」として、ぜひ日工同窓会員にも参加してもらいたい」という要請をいただきました。日立市と日立製作所は、日立市全

日立理科クラブ

Hitachi Science Club (HSC)

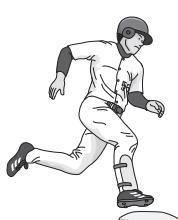
〒316-0064 日立市神峰町 1-6-11

日立市教育プラザ 2階

E-mail:hsc-rikakurabu@net1.jway.ne.jp
http://hitachi-rika.sakura.ne.jp/



詳細について、日立理科クラブのホームページをご覧ください。
入会をご希望される方やご興味のある方は、日工同窓会事務局へご連絡ください。



11月2日、カナダのオンタリオ州でMLBワールドシリーズが行われました。勝敗は3勝3敗でこの日が最終戦。唯一アメリカ外に本拠地を持つブルージェイズとLAを本拠地とするドジャースの試合となります。私は昼間からビール片手にアマプラで観戦。試合は延長11回の末、スコア5対4のドジャースの勝利で幕を閉じました。私はドジャースファンですが勝利の瞬間ボロ泣きさせていただきました。山本投手はじめ日本人選手の活躍もあり歴史的勝利の瞬間に生きていて良かったです。今年のWSもたくさん感動と元気をいただきました。

(齊健)



支部役員になり早数年。
「本部もやってみるか?」
とお説いていただき、半年ほどではあるが本部広報